

令和3年 第18回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 令和3年10月22日（金） 開始時刻 午後3時30分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 小堀教育長，伊藤委員，大森委員，檜山委員，小野委員
- 4 説明員 青木教育次長，鈴木学校教育担当次長，坂井教育企画課長，板倉総務担当主幹，吉岡学校管理課長，口川学校教育課長，秋田学校健康課長，秋山生涯学習課長，山口文化課長，岡田スポーツ振興課長，金子教育センター所長
- 5 書記 古内課長補佐，篠崎総務担当副主幹，高久係長，田代係長，樋口主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第37号 令和4年度教育委員会当初予算編成方針について
 - 議案第38号 指定管理候補者の選定について
 - (2) 報告事項
 - 報告第54号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第55号 令和3年度宇都宮市教育委員会教育支援者感謝状受賞者の決定について
 - 報告第56号 令和3年度「全国学力・学習状況調査」，「とちぎっ子学習状況調査」の結果について
 - 報告第57号 学校等事件・事故について
 - 報告第58号 令和3年度宇都宮市社会教育振興貢献企業等への感謝状贈呈企業等の決定について
 - (3) その他
 - ① 第35回宇都宮マラソン大会の中止について

8 議事の内容

事務局	<p>定刻となったが、会議の開催に先立ち連絡事項がある。</p> <p>本日も、新型コロナウイルス感染症防止のため、マスク着用や発言は着席で行うなど、対策を講じて会議を開催するので、ご協力をお願いします。</p>
教育長	<p>まず、ご報告する。</p> <p>小野委員においては、10月1日に、市長から教育委員としての任命辞令を受けられた。</p> <p>小野委員は、現在、弁護士としてご活躍されており、また、国体の実行委員をはじめ、様々な面から市政にご尽力いただいている。そういった経験を活かし、本市教育行政の発展にお力添えをいただければと思うので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、小野委員よりあいさつをお願いします。</p> <p>(小野委員あいさつ)</p>
教育長	<p>ただいまから、第18回宇都宮市教育委員会を開会する。</p> <p>本日の会議録署名委員は、伊藤委員、大森委員をお願いします。</p>
教育長	<p>議事に入る前に、まず、教育長職務代理者の指名について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、10月1日付けで、伊藤委員を教育長職務代理者に指名したので報告する。</p> <p>伊藤委員よりあいさつをお願いします。</p> <p>(伊藤委員あいさつ)</p>
教育長	<p>次に、議席の決定について、制度の説明をお願いします。</p>
教育企画課長	<p>【説明要旨】</p> <p>○ 宇都宮市教育委員会会議規則第4条に、「委員の議席の決定は、教育長の指定又は抽選により行うものとする。」と定められていることから、いずれかの方法で決定することとなる。</p>
教育長	<p>ただいまの説明のとおり、議席の決定には、教育長指定と抽選の2通りの方法があるが、いかがか。</p>
伊藤委員	<p>教育長指定で良いのではないか。</p>
教育長	<p>ただいま、教育長指定ということでご発言をいただいたが、よろしいか。</p> <p>(全員賛成)</p>
教育長	<p>それでは、議席の指定を行う。</p> <p>議席については、「1番 小堀」、「2番 伊藤委員」、「3番 大森委員」、「4番 檜山委員」、「5番 小野委員」とする。</p>

(立札の設置)

教育長

次に、第13回、第14回、第15回、第16回の会議録について、ご意見等あるか。

(意見などない場合)

このとおり承認してよろしいか。

(全員了承の場合)

会議録を承認する。

教育長

それでは、第13回会議録については、伊藤委員、檜山委員、
第14回会議録については、伊藤委員、大森委員、
第15回会議録については、大森委員、檜山委員、
第16回会議録については、伊藤委員、檜山委員に署名をお願いする。

(会議録に署名)

教育長

それでは、本日の議事に入る。

議案第38号は、「意思形成過程にあるもの」、報告第54号及び報告第57号は、「個人情報が含まれているもの」であるため、非公開としてよろしいか。

(全員賛成)

全員賛成なので、これについては非公開とする。

教育長

それでは審議事項に入る。

議案第37号「令和4年度教育委員会当初予算編成方針について」説明願う。

【説明要旨】

総務担当主幹

- 本市の「令和4年度当初予算編成方針」に基づき、「令和4年度教育委員会当初予算編成方針」を決定するものである。
- 基本的な考え方
 - ・ 教育委員会においては、教育分野の主要計画である「第2次学校教育推進計画」や「第3次地域教育推進計画」をはじめ、下位計画の「学校健康教育推進計画」や「第2次学校ICT化推進基本計画」、「第2次読書活動推進計画」、さらには歴史文化資源の保存と活用の方向性を示した「歴史文化基本構想」等の着実な推進とともに、投資的経費の主なものとして、学校施設の長寿命化などの大規模改修事業に着手しているところであり、引き続き、これらを踏まえた行政資源の再配分が必要となる。
 - ・ 学校教育においては、「GIGAスクール構想」により整備した1人1台端末を活用し、児童生徒の学びの充実や、研修の充実により教職員のICTに関する資質・能力の向上を図る。また、不登校対策においても、1人1台端末の有効活用により、児童生徒一人一人の学習状況に基づいたきめ細かな指導のための体制づくりなどに取り組んでいく。
 - ・ 社会教育においては、市民の主体的な学習活動の支援や、家庭・地域の教育力向上の取組を通して、地域社会を支える人づくりを推進しているところ

である、今後とも、子どもの家や図書館への指定管理者制度導入など、効率的で効果的な施設運営に取り組んでいく。

- ・ 文化・スポーツについては、市民が文化、スポーツの分野で主体的に活動できるような環境づくりを推進しているところであり、引き続き、日本遺産に認定された大谷石文化をはじめとする歴史文化資源の適切な保存・活用の推進、施設の老朽化対策などを通じた文化・スポーツ活動環境の充実などに重点的に取り組んでいく。
- ・ 予算編成にあたっては、課題の緊急性や重要性、事業実施による費用対効果を見極め、既存の施策・事業を抜本的に見直し、「選択と集中」を図りながら、新たな取組が着実に実現できるよう、真に必要な経費の積算に取り組む。

○ 取組方針

◆ 施策・事業の優先化・重点化

- ・ 学校教育においては、児童生徒の学びを保障する「GIGAスクール構想」により整備した1人1台端末を活用し、協働的な学びはもとより個別最適な学びを充実させる。
- ・ 不登校対策として1人1台端末を有効活用した支援方策の調査研究や学校訪問指導体制の充実に取り組む。
- ・ 特別支援教育の推進に必要な体制づくり（医療的ケア児支援業務における会計年度任用職員の雇用など）にあたっては国庫補助金を積極的に活用するなど財源確保に努め、着実に具現化していく。
- ・ 良好な学習環境の確保のため、学校施設の老朽化対策や学校トイレの洋式化を進めるとともに、全小学校の体育館へ空調設備を導入する。
- ・ 子どもの家等事業については、指定管理者制度の全地域への導入と、適切な施設管理・運営に取り組み、児童の健全育成を図る。
- ・ 効果的で効率的な施設運営を目指し、新たに東図書館、上河内図書館、視聴覚ライブラリーに指定管理者制度を導入する。
- ・ 市民のスポーツ活動環境を充実するため、北西部地域体育施設の整備、宮原運動公園の再整備など、計画的なスポーツ施設の整備に取り組む。
- ・ 宇都宮市歴史文化基本構想を具現化するため、歴史文化資源の効果的な普及啓発や保存活用の仕組みづくりに取り組む。

◆ 財源確保の徹底

- ・ 教育委員会で作成している情報誌等の広告や学校応援制度など、あらゆる機会を捉えた創意工夫による自主財源等の確保に努める。

◆ 行財政改革の徹底

- ・ 多額の不用額や低い執行率が生じている経費については、実績に基づく金額の精査を行い、真に必要な経費の再配分に努める。

◆ 補助金等の見直し

- ・ 社会情勢の変化や行政ニーズに適した補助であるか、また、事業目的を実現するうえで最善の手法であるかを必要性や効果等から十分に検討し、適正化を図る。
- ・ 補助金等審査委員会の審査結果を踏まえ、経費の節減や効果の向上に努

	める。
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
大森委員	宇都宮市内で医療的ケア児は何名いるのか。
教育センター所長	市内の医療的ケア児は7名で、看護師免許のある8名のスタッフが学校現場に入って対応をしている。
大森委員	図書館で指定管理者制度が導入されているのは現時点では南図書館だけか。
生涯学習課長	南図書館と河内図書館が指定管理者制度を導入している。
大森委員	今後全ての図書館に指定管理者制度を導入する計画はあるのか。
生涯学習課長	今年度選定をし、東図書館、上河内図書館、視聴覚ライブラリーに導入する予定である。ただ、中央図書館については図書館全館の統括館であるため、当面の間は宇都宮市直営と考えている。
小野委員	不登校対策として1人1台端末を有効活用した支援方策とあるが、学習支援以外で、学校復帰に向けた取組ではどのように端末を活用しているのか。
教育センター所長	担任が不登校の児童生徒とコミュニケーションをとるほか、学校での活動の様子を動画で不登校の児童生徒に送り、同時に参加することで学校復帰を目指す取組などを端末を通して行っている。保護者とも端末でコミュニケーションをとったり資料のやり取りをしたりして連携をとっている。
伊藤委員	不登校対策は担任の先生が主体となって取り組んでいるのか。それとも不登校児童生徒の心のケアを担当した経験がある教員が担当しているのか。担任の先生だとすると相当な負担がかかると考えるがどうか。
教育センター所長	担任だけでなく、学校で不登校対策のチームを作り取り組んでいる。そこに指導主事が関わり、より良い効果を出していく。
教育長	それでは、議案第37号を決定してよろしいか。 (全員了承) 議案第37号を決定する。
教育長	それでは報告事項に入る。 報告第55号「令和3年度宇都宮市教育委員会教育支援者感謝状受賞者の決定について」説明願う。
教育企画課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育への支援や地域における子どもの育成活動を実践している個人・団体（企業を含む。）に対し、教育委員会がその活動に対し感謝の意を表すとともに、教育支援者の意欲の向上と地域における学校教育等への支援意識の高揚を図り、ひいては地域ぐるみの子育てに資することを目的に、平成26年度より実施しているもの。 ○ 各小中学校、魅力ある学校づくり地域協議会及び教育センターからの推薦を受け、選考委員会の審査を経て受賞者を決定しており、今年度は個人63名・団体7組を受賞者として決定。 ○ 10月23日に予定していた感謝状贈呈式は、判断日時点において新型コロナウイルス感染症に係る県の警戒度レベルがステージ3であったため開催を中止し、各学校等から受賞者へ直接授与する。

教育長 伊藤委員	説明は以上だが、質疑などはあるか。 受賞者のうち中学校の割合が小学校と比べて少ない。周知の弱さ、中学校と地域との関わりの少なさなど何か問題があるのか。
学校教育課長	小学校は様々な業務があるが、中学校は学習指導ひとつとってもハードルが高い。また、1校で継続して5年間活動という選考基準があるが、中学校は単年度ごとに変わっているなど継続性に欠けている。決して中学校が停滞しているという状況ではない。
教育長	活動内容を見るとパトロールや見守り活動など小学校の方が取り組みやすいものが多い。中学校は生徒自身で出来てしまうものが多い。
檜山委員	個人の受賞者ではどの年齢層が多いのか。
教育企画課長	5年間活動して即推薦されるというより、長年活動している方が順番で推薦されている状況であり、比較的高齢の方が多い。
教育長	それでは、報告第55号を承認してよろしいか。 (全員了承) 報告55号を承認する。
教育長	報告第56号「令和3年度「全国学力・学習状況調査」、「とちぎっ子学習状況調査」の結果について」説明願う。
学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科に関する調査の結果について、「全国学力・学習状況調査」では小6・中3ともに全教科で、国の平均正答率を上回っており、中学校の上回り方が小学校よりも大きい。「とちぎっ子学習状況調査」では小4の国語で県の平均正答率を下回り、小4の算数で県の平均正答率と同値である。それ以外の学年、教科においては県の平均正答率を上回っている。 ○ 児童生徒のアンケート結果では、主体的によりよい学級づくりに参画しているなど、肯定的な回答が多かった。一方で、学校の授業以外における学習時間は、中3以外の学年では県の平均を下回るなど課題が見られた。 ○ 学校アンケートでは、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善など、肯定的な回答が多かった。一方で、学力調査における課題の改善状況を確認する方法については、検討が必要である。 ○ 児童生徒のアンケートと教科の正答率のクロス集計結果について、学力との相関が高い質問について考察したところ、正答率が高い児童生徒は疑問に思ったことを追求しようとする意欲をもち、主体的に学習に取り組んでいることなどが分かった。 ○ 今後の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ P D C Aサイクルの着実な実施 ・ I C Tを活用した授業改善 ・ 基礎基本の確実な定着 ・ 書く力の育成 ・ 認め励ます教育の推進
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。

伊藤委員	書く力が大切ということだが、市として作文や感想文など書く力を育む取組はしているのか。
学校教育課長	日常的に書く習慣をつけるため、スタンダードダイアリーに中学生は毎日日記を書き、小学生は明日の持ち物などを書き写す活動をしている。1人1台端末が導入されたが、デジタルとアナログのバランスが大事であると考えてるので、スタンダードダイアリーの取組は継続していきたい。
教育長	<p>それでは、報告第56号を承認してよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p> <p>報告第56号を承認する。</p>
教育長	報告第58号「令和3年度宇都宮市社会教育振興貢献企業等への感謝状贈呈企業等の決定について」説明願う。
生涯学習課長	<p>【説明要旨】</p> <p>○ 社会教育振興貢献企業等への感謝状贈呈制度については、企業等の有する専門性を生かして長きにわたり教育委員会と共同で講座を実施し、本市の社会教育推進に大きく貢献された企業等への感謝の意を表すものとして、平成29年度より実施している。</p> <p>○ 今年度は3企業を感謝状贈呈企業として決定した。</p> <p>○ 10月23日に予定していた感謝状贈呈式は、判断日時点において新型コロナウイルス感染症に係る県の警戒度レベルがステージ3であったため開催を中止し、感謝状は企業の要望に応じて、訪問・郵送で対応する。</p>
教育長	<p>説明は以上だが、質疑などはあるか。</p> <p>(特になし)</p> <p>それでは、報告第58号を承認してよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p> <p>報告第58号を承認する。</p>
教育長	<p>次に「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。</p> <p>【公開できる案件の終了】</p>
教育長	<p>これからの議案については、非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いします。</p> <p>【傍聴者の退席，非公開審議の開始】</p> <p>○ 議案第38号 指定管理候補者の選定について ⇒ 決定</p> <p>○ 報告第54号 教育行政相談の内容と対応について ⇒ 承認</p>

○ 報告第57号 学校等事件・事故について
⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

その他委員の皆様から何かご意見などあるか。
(特になし)
次に、事務局から連絡事項をお願いする。

事務局

連絡事項説明 (教育企画課長補佐)

- このあとの予定について
このあと休憩をはさんで、自由討議に係る事前説明、委員研修を行う。
- 今後の会議等の日程について
 - ・ 11月19日(金) 午後1時20分～ 教育施設視察
 - 午後3時20分～ 定例会

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午後5時10分

署名委員

署名委員
